

令和3年度 第2回 三島市高齢者保健福祉及び介護保険運営懇話会会議録

1 開催日時

令和4年3月24日（木） ※ 書面にて開催

2 開催場所

書面開催のためなし

3 懇話会委員

池田委員（座長） 三宅委員（副座長） 近藤委員（副座長） 川原委員 甲斐委員
渡辺委員 小島委員 荻野委員 鈴木委員 山本委員 佐野委員 宮本委員 山田委員
内田委員 三沢委員 碓井委員 今野委員 原田委員 斉藤委員 村瀬委員 青田委員
小川委員 高橋委員 杉山委員 中神委員

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴人

0人

6 議題

(1) 令和3年度事業状況について

令和4年1月末現在の事業進捗について

（高齢者の生きがいつくりの推進、健康づくりと介護予防の充実、包括的支援の推進、
認知症施策の総合的な推進、地域を支える体制の整備、介護保険事業費）

(2) 地域密着型サービス施設整備について

施設整備の目標、募集内容、選考方法、選定経過、応募者、審査結果

(3) 令和4年度高齢者実態調査について

調査の目的、調査の概要、国・県・市の役割分担、調査内容、スケジュール（予定）

<意見及び回答>

(該当資料・項目) 高齢者保健福祉及び介護保険全般について
(意見等) 長期化するコロナ禍における高齢者や要介護者等に対する十分な対策、また、介護職等への配慮を願いたい。
(回答) 直接的な感染症対策はもちろんのこと、コロナ禍が長期化したことによる高齢者、要介護者の心身、日常生活への影響についての分析と対応は重要と認識している。また、高齢者や要介護者等を支える介護施設等に従事する職員の処遇改善と人材育成は喫緊の課題であり、その対策に努めていく。
(該当資料・項目) 高齢者保健福祉及び介護保険全般について
(意見等) 介護職の不足原因とその解決策について調査し、今後の市政に反映してほしい。
(回答) 介護人材の慢性的な不足に対する対策は、当市においても喫緊の課題と認識している。次期計画策定に向け、市内事業所における人材不足の実態の把握と、求められる対策についての調査を実施していきたい。
(該当資料・項目) 協議事項(1)資料「令和3年度事業状況」全般について
(意見等) 事業の縮小や延期、中止等が増えている。外出を控え、人流を抑制することは感染対策となるが、一方で高齢者の活動の機会が減り、様々な機能低下がもたらされ、予防や維持、早期発見や対応に遅れが生じかねない。この状況下においても対応できる実施開催方法や参加方法等を検討されたい。
(回答) 高齢者の社会とのつながりが希薄となる影響を最小限にとどめるために、感染症等のリスクに対応した事業の在り方を検討することは重要な課題である。今後とも、リスク軽減を図りつつ事業効果を維持・向上できる様々な事業手法の導入や改善を通じて、高齢者が社会と多様な接点を持てる場と機会を創出できるよう努めていく。
(該当資料・項目) 協議事項(1)資料「令和3年度事業状況」P2～4 1 高齢者の生きがいがづくりの推進 全般について

<p>(意見等)</p> <p>新型コロナの影響で活動場所の多くが中止になった。この生活が続く可能性もあるなか、知恵を絞る必要があると考えるがいかがか。</p>
<p>(回答)</p> <p>緊急事態宣言中には閉館した施設もあったが、自宅で可能な介護予防の資料や冊子の配布、電話相談の実施などの活動を継続した。今後、高齢者を対象のLINEを活用した取り組みも開始するなど、高齢者の生きがいをさらに進めていく。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(1)資料「令和3年度事業状況」P2</p> <p>1 高齢者の生きがいの推進 (1)生きがいの活動の促進</p> <p>② 地域活動の促進 ア 老人クラブ活動</p>
<p>(意見等)</p> <p>高齢化が進む中、老人クラブの団体数、会員数が一向に増える傾向にないが、なぜか。運営の事務作業が煩雑との意見もあるがいかがか。</p>
<p>(回答)</p> <p>定年退職年齢が延びた事、余暇を過ごす選択肢が多くなっている事が、会員数が伸び悩んでいる一つの要因と捉えている。老人クラブ運営の負担軽減に向け、今後も最大限のサポートをしていきたい。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(1)資料「令和3年度事業状況」P3</p> <p>1 高齢者の生きがいの推進 (1)生きがいの活動の促進</p> <p>③高齢者の外出対策 ア 高齢者のバス助成事業</p>
<p>(意見等)</p> <p>高齢化や免許返納が進む中、利用者数が増加していないのはなぜか。助成の拡大を含めた利用拡大策が必要と考えるがいかがか。</p>
<p>(回答)</p> <p>令和元年度から対象者全員に助成券を郵送することし、利用者数は増加したが、令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出控えのため減ったと推察している。利用拡大策については、高齢者の増加に伴う財政負担も見込まれるため、他市の状況や他の高齢者福祉施策の見直しを含め調査・研究をしていきたい。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(1)資料「令和3年度事業状況」P3</p> <p>1 高齢者の生きがいの推進 (2)スポーツ・生涯学習活動の促進</p> <p>① 生涯学習の促進 ウ 寿大学</p>

<p>(意見等)</p> <p>寿大学募集時に企画内容がわかるとより参加しやすくなると思うがいかがか。</p>
<p>(回答)</p> <p>寿大学事業は、三島市老人クラブ連合会に委託しており、スケジュールの制約から、募集時に詳細計画を掲載することは難しいが、広報みしまの掲載方法などを検討していく</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(1)資料「令和3年度事業状況」P13</p> <p>5 地域生活を支える体制の整備 (4) 災害・感染症対策に係る体制整備</p> <p>②感染症対策</p>
<p>(意見等)</p> <p>介護保険施設同士でも、感染症対策の水準に差を感じる事が多くある。情報交換・共有ができる場、同じ水準の研修を受ける機会があればと思うがいかがか。</p>
<p>(回答)</p> <p>ウェブの活用等も含め、事業所間の情報交換、情報共有ができる機会の創出に努めたい。また、感染症対策の研修については、県等が実施する研修の案内・周知や情報提供などを通じて、市内施設の対策水準の維持、向上を図っていきたい。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(2)資料「地域密着型サービス施設整備 全般について</p>
<p>(意見等)</p> <p>域密着型サービス利用の需要や必要性は、大きく、今期の施設整備計画の事業実施予定者が決定したことはよかったが、応募締め切りまでの期間が短く感じるので、次期施設整備計画の公募時には検討をお願いしたい。</p>
<p>(回答)</p> <p>今回の施設整備の公募では、事業スケジュールの制約から、応募の準備期間は約2か月の設定となったが、次回計画における施設整備では、より多くの事業者に応募いただける公募方法を検討したい。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(3)資料「令和4年度高齢者実態調査」 全般について</p>
<p>(意見等)</p> <p>地域づくりの啓発や活動、共生社会の実現へ向け、地域の高齢者の地域づくりへの活動意欲や課題等の調査項目を検討してみてもどうか。</p>

(回答)

令和元年度に実施した前回調査においても、「地域での活動について」、「たすけあいについて」、「生きがいについて」の調査項目を設定したが、次回調査ではより具体的な取り組みにつながる調査項目となるよう工夫したい。

(該当資料・項目)

協議事項(3)資料「令和4年度高齢者実態調査」

(3) 調査内容 ①高齢者一般調査

(意見等)

アンケート調査だけでなく、歩数、心拍数などデジタルデータや献血データ、医療データ等との関係性を調査、蓄積して欲しい。

(回答)

タニタと連携事業において、歩数計利用者とそうでない方の運動習慣が健康に与える影響や医療費の違いをデータ比較している。

また、データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画にて国保データを事業の実施に活用しているが、国保加入者は人口の2割程度という課題もある。

なお、新たな取り組みとして、アプリを活用した健康づくり事業を進めていく予定だが、このアプリで得たデータの地域課題解決への活用を検討していきたい。

以上